

「令和8年度在宅医療に関する研修会（講義）」
「令和8年度在宅医療に関する研修会（症例検討）」
のご案内

令和8年4月
公益社団法人静岡県薬剤師会

1 目 的

薬剤師は、地域包括ケアシステムにおけるチーム医療の一員として薬学的な専門性を活用し、在宅患者のQOL及びADLの改善、在宅医療における医薬品の適正使用、医療安全の確保、在宅医療チームの負担軽減、薬剤費用の適正化などに貢献することが求められている。

この研修会は、在宅医療における薬剤師の役割の理解と在宅医療を実施するに当たって必要な知識の習得と、医師、介護支援専門員等による多職種との連携の必要性を理解させることによって、県民の健康な生活の確保及び向上に寄与するものである。

2 日時・受講場所・開催方式・定員

①集合研修で受講（講義及び症例検討受講）

研修会名	日時	受講場所	定員
令和8年度在宅医療に関する研修会（講義・症例検討）	令和8年5月31日（日） 10:00～16:10	静岡県薬剤師会館 静岡市駿河区馬淵2-16-32 電話 054-203-2023	20名

※駐車場の用意はございませんので、お車での来場はご遠慮願います。

②ウェブ利用研修で受講（講義のみ受講）

研修会名	日時	受講場所	定員
令和8年度在宅医療に関する研修会（講義）	令和8年5月31日（日） 10:00～11:50	Zoom ウェビナーを利用したリアルタイム Web 配信	100名

※ **厳 守** 開始時刻10分前までに受け付け（接続）をお願いいたします。開始時刻を過ぎて受け付けをした場合は、所定の研修点数を付与されない事が有ります。

やむを得ない事情により開催延期・中止の場合は、メール送信、ホームページへの掲載の方法によりお知らせいたします。

本講座では、午前の講義では、在宅医療で直面することの多い疾患である心不全を例に、薬剤師に必要となる情報源について紹介します。さらに直面する患者さんの臨床的な問題に対して情報から得たエビデンスをどのように活用するかについて講義します。

静岡県薬剤師会作成の「トレーシングレポート」や静岡県医師会作成の「シズケア*ささえあい連携シート」など多職種連携ツールへ薬剤師の所見を記載する際の参考となる内容です。

午後の症例検討では、患者さんの症例を題材に、午前の講義で紹介した情報源を活用し、それぞれの症例に必要な薬物療法のエビデンスの適用について参加者皆さんで考えたいと思います。研修では翻訳ソフトやChatGPTも用いて現場で「すぐに取り扱えるエビデンス」を目標とします。

3 受講対象者 静岡県内薬剤師

※会場で受講の場合は、本人確認票（PECSのQRコード）及び本人確認用の身分証明書の原本（顔写真の付いた会員証、免許証など）を持参してください。

4 受講料 無料

5 プログラム 別紙のとおり

※本研修会は、日本薬剤師研修センターが定める「集合研修」及び「ウェブ利用研修（集合研修即時配信）」に該当し、「研修認定薬剤師制度」対象研修会として申請予定です。

研修会終了後、当該研修会の受講者データを日本薬剤師研修センターに報告しますので、予めご了承ください。

※本研修会は令和6年度調剤報酬改定で新設された「在宅薬学総合体制加算」施設基準における外部の学術研修会としてご活用いただけます。

- 6 申込方法 静岡県薬剤師会ホームページ「研修会・講習会等」又は下記URL、QRコードから、5月21日（木）までにお申込みください。締切日以前でも定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。受講の可否は申込締切日以降、メールにて連絡します。

① 講義（午前）及び症例検討（午後）を集合研修で申込

URL <https://forms.gle/PkpTCBuTpfZqoWRE8>



② 講義（午前）をウェブ利用研修で申込

URL <https://forms.gle/QqwiKLCzgtLoWKmh7>



※ウェブ利用研修で受講の場合、受講者名簿（①薬剤師名簿登録番号、②氏名（氏と名）、③研修終了日）を日本薬剤師研修センターに報告します。

受講者が PECS に誤った薬剤師名簿登録番号を登録している場合、単位が正しく発行されませんので、PECS の登録内容に誤りがないか、今一度ご確認ください。

また、研修会申込時にも、薬剤師名簿登録番号の入力に誤りがないようご注意ください。

- 7 問合せ先 静岡県薬剤師会事務局（担当：山澤） 電話 054-203-2023 FAX054-203-2028 E-mail : chiikiiryou@shizuyaku.or.jp

- 8 その他 欠席される場合は、予め県薬事務局までご連絡ください。連絡のない欠席は、事務局から確認の連絡をする場合があります。止むを得ず当日欠席の場合は、後日ご連絡くださいますようお願いいたします。

日本薬剤師研修センター「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」について

日本薬剤師研修センターでは、「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」が令和4年4月1日から開始しました。日本薬剤師研修センターの研修受講単位が付与される研修の受講、認定薬剤師の認定申請等のためには、各自 PECS に登録する必要があります。

詳細については日本薬剤師研修センターホームページをご確認ください。

<https://www.jpec.or.jp/faq/about/ninteitetudukidenshika.html>

静岡県薬剤師会の対応については、静岡県薬剤師会ホームページ掲載「静岡県薬剤師会主催研修会の出席方法について」をご確認ください。

<https://www.shizuyaku.or.jp/38830/>

在宅業務に関する研修会シリーズ
「令和8年度在宅医療に関する研修会（講義・症例検討）」
プログラム

日時：令和8年5月31日（日）10：00～16：10

受付：9：30～9：50

場所：静岡県薬剤師会館 3階 大会議室

司会：静岡県薬剤師会

時 間	A 班：5名	B 班：5名	C 班：5名	D 班：5名
10：00～10：05 (5分)	開会あいさつ：静岡県薬剤師会 ＜大会議室＞			
10：05～11：35 (90分)	「在宅医療において薬剤師に必要とされるエビデンスとその活用」 静岡県立大学薬学部 実践薬学分野 教授 内田信也 ＜大会議室 前方スクール席＞			
11：35～11：45 (10分)	質疑応答 静岡県立大学薬学部 実践薬学分野 教授 内田信也 ＜大会議室 前方スクール席＞			
11：45～11：50 (5分)	あいさつ：静岡県薬剤師会 ＜大会議室 前方スクール席＞			
11：50～13：00 (70分)	休憩			
13：00～14：30 (90分)	第一部 ＜症例1＞ 1 症例提示とディスカッション 2 臨床問題の定式化（PICOの作成） 3 エビデンスの検索 4 エビデンスの精査 5 エビデンスの患者への適用とプランの検討 全体進行 静岡県立大学薬学部 実践薬学分野 教授 内田信也 チューター 静岡県立大学薬学部 実践薬学分野 講師 三浦基靖 静岡県立大学薬学部 実践薬学分野 助教 河本小百合 ＜大会議室 後方グループ席＞			
14：30～14：45 (15分)	休憩			
14：45～15：45 (60分)	第二部 ＜症例2＞ 1 症例提示とディスカッション 2 臨床問題の定式化（PICOの作成）、エビデンスの検索・精査 3 エビデンスの患者への適用とプランの検討 全体進行 静岡県立大学薬学部 実践薬学分野 教授 内田信也 チューター 静岡県立大学薬学部 実践薬学分野 講師 三浦基靖 静岡県立大学薬学部 実践薬学分野 助教 河本小百合 ＜大会議室 後方グループ席＞			
15：45～16：05 (20分)	第三部 まとめ 「在宅医療において薬剤師に必要とされるエビデンスとその活用とは」 静岡県立大学薬学部 実践薬学分野 教授 内田信也 ＜大会議室 後方グループ席＞			
16：05～16：10 (5分)	閉会あいさつ：静岡県薬剤師会 ＜大会議室 後方グループ席＞			

在宅業務に関する研修会シリーズ
「令和8年度在宅医療に関する研修会（講義）」
プログラム

日時：令和8年5月31日（日）10：00～11：50

受付：9：30～9：50

場所：Zoom ウェビナーを利用したリアルタイム Web 配信

司会：静岡県薬剤師会

時 間	
10：00～10：05 (5分)	開会あいさつ：静岡県薬剤師会 ＜大会議室＞
10：05～11：35 (90分)	「在宅医療において薬剤師に必要とされるエビデンスとその活用」 静岡県立大学薬学部 実践薬学分野 教授 内田信也 ＜大会議室＞
11：35～11：45 (10分)	質疑応答 ＜大会議室＞
11：45～11：50 (5分)	閉会あいさつ：静岡県薬剤師会 ＜大会議室＞